

今年の夏は暑い。豪雨被害を受けた方々は、暑い日なかに片付けをしなければならず、停電で夜はクーラー無しで過ごすなど大変な苦勞をされていることだろう。動物や鳥もこの暑さには参っているのではないか。

私自身は六月、七月と商談にかりきりで、歌詠みに身が入らず、未だスランプ状態である。

● やよ雀足を焦がすな真夏日の雲なき陽射しに屋根はじりじり
小さな身体の雀が前の家の屋根を歩き回っている。おもわず声を掛けたくなった。

● 瓦屋の少なき町は住み難し雀は宿を何處どこに求めむ
最近雀が減ったように感じていたが、その感覚は正しかったようだ。その原因は雀が巣をつくりやすい瓦屋根の家が減った事にあるらしい。一方で同じ雀科のガビチヨウ（画眉鳥）がどんどん縄張りを広げているそうだ。

● 雀らが日の出をつげる囀りに今日一日の命を想う
鳥たちは朝が早い。日が昇るとまっていますとばかりにカラスが叫び、雀が囀る。眠い目をこすりつつ、今日はなにをするか、段取りを考えるのが日課だ。やらなければ成らないことは、山ほどある。

● ガビチヨウの声に負けるな雀らの囀りを聴き寝所を離る
ガビチヨウの鳴き声は美しいし、良く響く。アンテナの先にとまって、高らかに声を張上げる。我が愛する雀は小さな声で「チュンチュン」囀るだけだ。

● 伽羅色カハラの肌を彩る刺青いれずみはモスクの壁のアラベスクに似て
羽田空港の国際線待合いには様々な旅人がある。私の座るベンチの先に、大きなケージを積んだ台車を前に座っているご婦人は、薄茶色の肌に精巧な刺青を施している。

● 旅人は暑さにめげず何処へ行くコーラン響くモスクの街か
前段のご婦人は何処まで行くのだろうか。ケージは相当大きいのでイヌではなくチータでも運んでいるのだろうかと妄想を逞しくする。

完